

令和4年 9月

■一般文学

「電王」

- ・著：高嶋 哲夫
- ・出版社：幻冬舎

極貧家庭の子と虚弱体質の子、2人は将棋をきっかけに出会い、お互いに切磋琢磨しながら一緒にプロ棋士になる目標を立てます。皮肉なことに、プロ棋士になる手前の3段リーグで2人が対局することになってしまいます。激しい攻防の末、負けた子は、年齢制限まで余裕があるにも関わらず、将棋から去っていきました。それから数年後、2人は思いもよらない機会で再び出会うこととなります。

環境と性格が2人に影響を与えつつも根底に将棋があります。将棋を通して培った「なにか」が2人を遥かな「高み」に導いていくストーリーに惹かれます。その「なにか」をぜひ読み取ってみませんか。

(対象 一般)

■一般書

「0メートルの旅 日常を引き剥がす16の物語」

- ・著：岡田 悠
- ・出版社：ダイヤモンド社

会社員として働きながら、有給休暇のすべてをつぎ込んで旅をする著者。第1章では、「部屋」から16,350,000メートルの距離の新婚旅行で訪れた南極から始まって、距離を縮めながら8か所の海外をとりあげ、第2章では国内編として376,600メートルの仙台からだんだん近づきつつ4か所の話を取り上げる。第3章の近所編を経て、最終章家編では、0メートルの「部屋」を旅する。

旅のしづらいコロナ禍の中だからこそ、落ち着いて、旅とはなにかを考える著者の言葉に耳を傾けてみましょう。

(対象 一般)

■児童書

「ドリトル先生物語」

- ・作：H. ロフティング
- ・文：舟崎 克彦
- ・絵：はた こうしろう
- ・出版社：ポプラ社

ぼくの名前は、トミィ・スタビンス。年は、9歳半。あこがれの先生、ドリトル先生はイギリス生まれのジェントルマン。世界一の博物学者で、動物のお医者さんで、言葉も分かるんだ。ぼくの夢は、早くおとなになって、大きな船で海にでて世界中の動物たちとなかよしになること。先生の助手になれば夢がかなうに違いない。助手になったある日、先生があてずっぽうの旅とやらを試してみないかと誘われた。絶好のチャンスだ。いろんな国の動物たちを助けた先生はとうとう、月まで旅行へ行ってきた。そこで大きな研究課題を見つけたんだ。その課題とは！今の時代こそ、子供から大人までが望んでいる永遠の課題かもしれない。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「ねこは るすばん」

・作：町田 尚子

・出版社：ほるぷ出版

ある日、一匹の飼い猫が留守番をしています。飼い主が出かけたのを確認すると、部屋にあるタンスの奥へ入り込みます。そこはなんと、こっそり外へ抜ける穴に繋がっていて猫の街へと出かけます。

猫は、美容院へ行き、身だしなみを整えて、本屋へ出かけたり、寿司を食べたり、一日を満喫し、また何事もなかったように飼い主の帰りを待っているのです。

可愛らしい表情豊かな猫の絵と共に、子どもから大人まで楽しめる絵本なので、家にペットがいる人は読み終わったその日からペットの見方が変わるかもしれませんよ。

(対象 幼児～小学低学年)